

SAWAYAKA JOURNAL

aiile

Vol.

18

[エール]

[なるほど金融塾]

経済については、足元をこう見て、
先行きをこう読み込め

さわやかリサーチ特別参与 鈴木 茂

周年
記念

さわやか信用金庫20周年ご挨拶

第11回さわやか信用金庫物産展を開催

[特集記事]

～特殊技術・特殊製品の紹介～

株式会社東亜製作所の特殊技術について

[地域の新たな取り組みの事例紹介]

大田区発 中小製造業のための
デジタル受発注マッチングの仕組み

[さわやか信用金庫 20周年記念]

港区共催 創業フォローアップセミナー

20周年を迎えて

さわやか信用金庫 理事長 篠啓友



2002年の合併でさわやか信用金庫となりましてから20年が経過しました。厳しい環境の中、無事に20周年を迎えられましたのは、お取引先の皆様、地域の皆様をはじめ多くの方々のご支援のお陰であり、深く感謝いたします。

20年間を振り返って

20年前は規模の拡大や体質強化を目的とした金融機関の合併がいくつも行われた時代でした。当金庫の合併もスケールメリットによる収益力の強化を目指したものでしたが、隣り合う信用金庫が合併したことで、地域的にも、都心エリア・城南エリア・郊外エリアと3つの特色あるエリアができました。東京産業信用金庫のお取引先は製造業が中心であったのに対し、東都中央信用金庫はサービス業、小売業が中心でしたので、合併によりお取引先の業種構成もバランスの取れたものになりました。

当時は、デフレ経済により中小企業も厳しい状況におかれていましたから、基本理念の「第一目には「中小企業並びに地域の人々をとことん金融面から支える」と謳い、「貫して中小企業支援に取り組んでまいりました。」

一方、内部的には効率的な組織と強固な財務体質の構築を目指し、歴代の経営陣の元、計画は着実に進められました。ただ、山もあれば谷もありました。中にはリーマンショックや東日本大震災など、大きな出来事もありました。また、近年は日銀の低金利政策や事業所の減少、ITの進展、高齢化などにより、金融機関をめぐる環境はより一層厳しいものになっています。

そこで、2017年度からは「新三位一体改革」に着手し、更に踏み込んだ体質改善に取り組むことになりました。すなわち、「意識改革」により、お客さま目線を徹底すること、「新戦略の実施」により、課題解決型営業への全面転換を図ること、「仕組みの変革」により、店舗機能や事務フローの見直しを行うことに、「三位一体」で取り組むこととしました。私どもに取りましては、大きな改革であり、私も相当の決意を持って臨みましたが、ようやく手応えを感じられるようになってきました。

2019年には突如新型コロナウイルス問題が発生し、当金庫も改革はいったん棚上げして全面的にこの対応に力を注ぎました。そして、早い段階からプロパー融資商品を創り、まずはお取引先に安心していただくことに努めました。その後、ゼロゼロ融資や各地公体に破格の条件の融資制度を作っていましたので、これらを活用し、多くの事業所の資金繰り支援を行ってまいりました。また、オンラインの商談会や補助金セミナーなどにも多くの事業者にご参加いただきました。例年開催されていた物産展は、オンラインにリアルを二部組み合わせた形式に変更するなど、本業のお手伝いにも知恵を絞りました。

当時は、金庫の体制から言えば、新三位一体改革の最終年度に入ろうかという時期でした。そのため「新戦略の実施」により既に集金件数がかかなり削減できていたこと、「仕組みの変革」により、電子化、ペーパーレス化、事務集中化が進んでいたことも重なり、緊急時対応の中、少

20th Anniversary



[経営理念]

さわやか信用金庫は
地域に根ざし
人々に寄り添い
中小企業とともに歩みます。
あらゆる課題に向き合い
あらゆる変化に挑み
明るい未来を創造します。

経営理念

行動指針

[行動指針]

私たちが大切にしたい
「コンプライアンスと3つのS」
COMPLIANCE (法令等の遵守)
SOLUTION (課題の解決)
SPIRIT (挑戦する心)
SMILE (笑顔)



『経験価値』とは、
伴走支援を通じた課題解決により、
深い信頼感と親密さを感じていただき、
いざという時に

当金庫がお客さまの頭に浮ぶ
唯一の存在となることです。

人数体制でも多くの資金繰り支援を行うことができました。また、副次的効果として、導入したばかりの電子稟議システムの習熟が進んだことや、若手職員が融資や補助金などの対応を行ったことから、お取引先から感謝される体験を数多く積み上げ、改めて地域金融機関の使命の大切さを実感できたことなどの事象も生まれました。

今後の展望

その後もコロナ禍から抜けきれない状況が断続的に続きましたが、2021年度からは「新三位一体改革(セカンドステージ)」をスタートしました。「意識改革」では、協同組織地域金融機関としての使命の認識と環境変化への即応する両面の意識を持つこと、「新戦略の実施」では、課題解決型営業の能力向上を図ること、「仕組みの変革」では、持続可能なビジネスモデルのステップアップを目指すことにしました。

新型コロナウイルス問題やライフサイクル各ステージでの支援は引続き重要なテーマとなりましたが、新たに課題解決型営業地域No.1プランの獲得を目標に加えしました。

融機関としての役割を果たすことを目指してまいりました。

その基本精神は変わりませんが、近年お取引先の事業構造やニーズは大きく変化しています。当金庫に求められる役割も金融面のみならず、お取引先の本業支援など幅広い分野に及んでいます。また、単に商品を開発するだけでなく、一先先に對するオーダーメイドのサービスがより重要性を高めています。今後益々加速するニーズの変化に対応するためには、役職員の認識の共有が必須であることから、20年ぶりに経営理念及び行動指針を見直しました。

経営理念の前半3行では、地域に根ざし、人々に寄り添い、中小企業とともに歩むという当金庫の根本的あり方を示し、後半の3行では、時代の変化に柔軟に対応しながらも、あらゆる課題や変化に挑戦してゆくという決意と今後の目指すべき姿について「強く」「強く」「伝わりや



それは、伴走支援を徹底し、『経験価値』で地域No.1を目指すことでもあります。

『経験価値』とは、伴走支援を通じた課題解決により、深い信頼感と親密さを感じていただき、いざという時に当金庫がお客さまの頭に浮ぶ唯一の存在となることです。このためには、お取引先の事業性と課題を把握するだけでなく、『Face to Face』によるお客さまの気持ちに寄り添った提案や、課題が顕在化した場合のスピード感のある対応、また、感じの良い応対により満足度を高めることが重要です。

この『経験価値』を一人でも多くのお客さまに感じていただくことが目標です。大変大きな目標ですが、実現に向けて役職員が一丸となってチャレンジし続けたいと思います。『経験価値』で差別化を図り、金庫の中核となるファースト層を「先でも多く創出して、30周年に向けた基盤を強化してまいります。

新「経営理念・行動指針」の制定

この20年間、地域の中小企業やお取引先を金融面からとことん支援することを通じて、地域金

すく」表しています。

また行動指針は、コンプライアンスを基本に、3つのSであらゆる課題の解決に取組むこと、何事にも挑戦する心をもつこと、常に感謝の気持ちと笑顔を忘れないことを示しています。

これから30周年に向けて、役職員が新しい経営理念と行動指針を心に刻み、一丸となって、地域の皆様のお役に立ち続ける金庫を目指します。これまでの皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも皆様の「指導」鞭撻をお願い申し上げます。

さわやか信用金庫 誕生20周年を迎えて

専務理事 石井敬一郎

この10月、さわやか信用金庫は20周年を迎えました。合併してもう20年経ってしまったのかと感慨無量です。その間、皆様のご尽力で、現在のような確固たる経営基盤を築くことが出来ましたこと、感謝の念に堪えませ

ん。私の一番の思い出は、

5年前に実施した「人事制度改革」です。地域金融機関として基本理念及び経営理念を実現していくために、自らの役割と責任を認識し果敢に実践する人材を育成することが課題でした。それを解決するために、「人」と「仕事」と「賃金」がバランスを保つことを目指

し、わかりやすい公正な制度となるような人事制度の再構築を行いました。合併8年目から検討を始め、コンサルティング会社にもお手伝いを頂き、時間をかけて改正案を何度も練り上げ、職員の皆さんとも協議を続けて実施することが出来ました。

次に思い出深いのは3年前の羽田本部ビルの建設です。当初は羽田支店のみの建替えを検討していましたが、隣地を購入する機会に恵まれ、支店の上層階に本部を広尾か



▲羽田本部ビル

ら移すことにしました。どのような建物にすべきかの検討にあたり、折しも篠理事長が就任されたときでしたので、篠理事長の経営方針を実現すべく外部からの知見



さわやか信用金庫は、地域の発展のため、みなさまと共に歩んでまいります。

さわやか信用金庫

▶「地域にさわやかな風を」をモットーに信用金庫業界のリーディングカンパニーを目指します。



感謝をこめて20周年

▶2022年10月15日に20周年を迎えることができました。

も得て、「コンセプトを「風通しの良い場づくり」としました。「さわやかな風が通り抜ける」建物、さらに羽田支店の地域に相応しい建物は何か。これらに基づいて建物外観はカーテンウォールのガラス張りの建物にすることにしました。未来を目指す「さわやか信用金庫」に相応しい建物として、職員の皆さんにとっても働きやすい場となったのではないのでしょうか。またこれからもさわやか信用金庫は皆様と共に歩んでまいりますので、羽田支店はじめ地域にあります営業店を大いにご利用して頂ければと思います。

さわやか信用金庫 20周年を迎えて

常務理事 小宮山勝

早いもので合併してから20年が経ちました。合併前を含め20年間の私の業務と感じたことを綴ってみたいと思います。

2001年の終り頃に合併の話があり1年弱で合併準備をすることになりました。当時私は、東京産業信用金庫の営業推進部の次長をしており、

営業関係の合併準備を任されておりました。信用金庫の営業ですから基本的に同じなのです。が、東京産業信用金庫は得融一元化(一人の営業が預金と融資を担当する)スタイルであり、東都中央信用金庫は得意先、融資担当が別という体制でありました。お互い譲ら

ないところでしたが、最終的には得融一元化を目指すことになりました。合併当初は、営業面でも、事務面でも職員が思い思いの方向に進んでいくように感じました。

2002年10月15日合併と同時に13年ぶりに支店長として営業店にでることとなりました。13年ぶりの営業店はわからな

りました。経営企画部時代に大きな試練が2つありました。

経営企画部長になって早々に、リーマンショックがあり、自己資本を減少させることになりました。その後しばらくは、自己資本の増加に努める日々となりました。そのため、最終的には何年かけても利益の積み増しで自己資本を高めることにしました。その結果6年経過し自己資本比率は8%台になりましたが、追って2つめの試練が訪れました。

合併から20年が経ち、当初思い思いの方向に向かっていった職員が、「新三位一体改革」を中心に同じ方向を目指し、一つの金庫になった感じがしています。これから、更に「持続可能なビジネスモデル」をステップアップし、「地域No.1」となることを楽しみにしています。



▶役員が一丸となりお客様の暮らしをサポートします。



20周年を迎えて

常務理事 松宮 充伸

2002年1月、当時審査部に所属しながら、経営改善計画策定のため大口融資先に実質出向中でした。報告のため審査部長に入れた電話で「合併が決まった。事務局をやってもうから、至急帰るように」との指示があり、突然でしたが合併を知ることになりました

た。大至急で経営改善計画を策定し、金庫に戻り合併事務局の仕事に着手しました。同月にプレスリリースし、10月15日に合併の運びとなりましたが、余り例のないスピード感だったと思います。準備期間中は、全体の形が概ね固まった7月頃に事務局を

経営企画部に引き継ぎ、審査部の部会の事務局となりましたが、前任者が融資受付業務だったこともあり、ほとんど進捗しておらず、残り2ヶ月で規程要領・業務フロー・帳票類等の審査業務に係る全ての項目を統一するため、赤坂・目黒を毎日のように移動する多忙な日々を過ごしていたことを思い出します。

あれから20年が経過したかと思うと感慨もひとしおです。この間、リーマンショック・東日本大震災・日銀マ

イクナス金利・YCC政策そして新型コロナウイルス感染症拡大等、多くの社会的・経済的な事象が発生しました。現在進行形の「新三位一体改革をはじめ、多くの従業員の努力と、何よりもお取引先のご理解・ご協力により、これらの問題を乗り切ることができました。これからの20年は、どんなことが起きるのでしょうか。新型コロナウイルスやインス感染症の収束・終息の形は、第4次産業革命による世界や日本の社会の変化は、SDGsへの

さわやか信用金庫 SDGs宣言
さわやか信用金庫は、地域社会の一員として「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けた取り組みを遂行し、持続可能な社会の実現に努めています。

17のSDGsのうち、本組合が特に取り組むべき目標として、以下の3つを重点的に推進します。

- 地域経済の活性化**
 - 地域内での金融サービス提供
 - 中小企業・ベンチャー企業への融資
 - 地域振興基金の活用
 - 地域活性化プロジェクトへの参加
- 地域社会への貢献**
 - 社会福祉活動への支援
 - 高齢者・障害者への支援
 - 地域防災活動への参加
 - 環境教育・生涯学習の推進
- 環境の保全**
 - 省エネルギーの推進
 - 環境に優しい商品の取り扱い
 - 環境問題に関する啓発活動
 - 環境に配慮した店舗の運営

▶2021年7月にSDGs宣言を行い、様々な取り組みを実施しております。

さわやかでスマートに
手軽で簡単・便利でお得♪

さわやか信金アプリ
スマートフォンを利用して、口座開設はもちろん、「種高照会」や「入出金明細」をアプリ上で簡単に確認できます。ぜひご利用ください。

Web完結型ローン
お申し込みからご返済まで、すべてWeb上で完了。来店不要で、お申し込みからご返済まで、すべてWeb上で完了。

4つの特長

- POINT 1 新顔口座開設
- POINT 2 来店不要
- POINT 3 印刷不要
- POINT 4 各種ローン申込

環境が変化する中でも、さわやか信用金庫は不易流行の精神で、引き続き「Facetoface」によるお取引先との信頼関係構築を大切にしつつ、システムの利便性を積極的に取り入れる等、良質な商品・サービスの提供や業務効率化に取り組むことを通じ、お取引先の役に立つ信用金庫を目指し続けることが、これからの最大のテーマになると思います。

20周年を迎えて そして次の20年に向けて

常務理事 其田 修一

私は、2015年に入庫した人間ですので、他の方々のようにリアルにこの20年間を振り返ることはできません。しかし、前職で、金融業界を違う立場から見えていた経験もありますので、当金庫が今日までの間、様々な困難に直面し、大変な努力でそれら乗り越えてきた

ことは、想像できます。パブル崩壊とリーマン・ショックでは、当金庫も大きな影響を被った訳ですが、それを克服し、経営体質も強化され、今日、20周年を迎えるに至ったことを、大変心強く思います。この間に金庫を去っていった方々も含め、たくさんの方々の懸命

な努力の積み重ねの上に今日がある。その気持ちも忘れずに、私たちが進めていかなければなりません。個人は、入庫後半半年を経て、2016年6月から役員を務めさせて頂いていますが、そこから現在までの期間は、当金庫の「新三位一体改革」の時期とびつたり重なっています。篠理事長の就任後、2016年の夏に、役員による臨店を行い、職員の声に耳を傾け、金庫の現状と課題を把握、そ

こから全てが始まりました。正直、その頃はこの改革がどのようなものになるのか、確たるイメージは持てませんでした。しかし、「新三位一体改革」は、営業スタイル、事務プロセス、店舗戦略など、経営、業務全般にわたる大きなムーブメントに発展し、今日まで続いています。未だ改革は途上にあります。未だ改革は途上にある状態から、金庫が自らの努力でここまで来たことに、改めて感動を覚えるとともに、金庫の歴史の中でも、特筆すべき取

組みに自分が参画できたことを、ありがたく思っています。次の20年後、世界がどのように変わっているのか、想像もつきません。そして、金融業界・金融サービスもおそらく今とはかなり異なる形になっているでしょう。スマホ・バンキングの普及や決済サービスなどの多様化は、その予兆とも言えるものです。そのような中で、当金庫は20年後をどう迎えるのか、これも予想は難しいのですが、一つ言えるのは、この6年間の「新三位一体改革」で発揮した自己変革の力、これが限り、未来は開けていくものだと思います。常に、現状を直視し、課題に立ち向かい、変化をおそれないスピリットを持つ組織。当金庫がそのような存在であり続けるために、私もささやかながら貢献ができたなら、と思っています。

よく見る Observe
聞き取る Listen
伝える Communicate

足を運ぶ

▶金融のソリューションとして、これからも地域の皆さまを応援いたします。

さわやか 信金アプリ
スマートフォンを利用して、口座開設はもちろん、「種高照会」や「入出金明細」をアプリ上で簡単に確認できます。ぜひご利用ください。

4つの特長

- POINT 1 新顔口座開設
- POINT 2 来店不要
- POINT 3 印刷不要
- POINT 4 各種ローン申込



第11回 さわやか信用金庫物産展を開催

2022年10月14日(金)
 (10時~16時)に第11回さわやか信用金庫物産展を羽田イノベーションシティ内のコングレスクエア羽田にて開催いたしました。当金庫は10月15日で20周年を迎え、感謝をこめて物産展を実施しました。

当金庫のお取引先様を中心に地方の出席者様も参加し、合計で52先の出展企業様がブースを設置し、地元銘品から全国の銘品まで生鮮食品・加工食品・菓子類・飲料・酒類・各種雑貨等の展示販売、地域物産のPRを行いました。新型コロナウイルス禍を受け、3年振りとなる開催で、「とことん応援プロジェクト」ひろがる つながる 一歩先の出会い」をコンセプトに「再開Re:start」をテーマに対面形式で行われました。

当日は5コース(東京タワー、横浜マリントワー、鎌倉八幡宮等)からなる日帰り旅行も実施され、物産展の会場も立ち寄り場所となりました。感染対策にも十分配慮して、1日で1400名以上のお客様がご来場され、沢山のお買い物を楽しまれました。

オープンセレモニーでは衆議院議員の平将明様をはじめご挨拶をいただき、多くのご来賓の方々にご参列賜りました。挨拶の中で当金庫の篠理事長は、「Withコロナ時代の本格的な事業活動の再開に向け、勢いがつくよう力を合わせて物産展を盛り上げたいと考えております。」と、10月15日であろうと20周年を迎え、これも皆様のご支援の賜物でございます。」等、感謝の言葉を述べました。

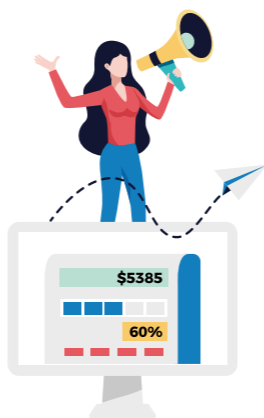
セレモニーでは寄付金贈呈式も行われました。さわやか信用金庫SDGs宣言の具体的な取り組みとして、SDGs福祉定期預金(ハーモニー)の販売を始めましたが、2022年9月で目標達成となり、定期預金契約総額の0.01%(100万円)の寄付金が社会福祉法人東京都社会福祉協議会様へ贈呈されました。同協議会様を通じて当金庫営業エリア内(東京都・神奈川県)の高齢者社会施設へ寄付いたします。

また、当金庫のビジネスマッチングセンターでは「下町ボブスレー基調講演」も開催され、下町ボブスレープロジェクト委員長

の黒坂浩太郎様にご講演していただきました。今シーズンの報告と現在もより速いボブスレーを作るために継続的に研究開発し、大田区のものづくりの力を世界に発信しようというプロジェクトについて、貴重なお話をいただきました。

当金庫では物産展を通じて、出展者様が個々のブースで商品をお客様同士が交流会う交流の場を提供し、地域を盛り上げていく環境作りをしていきたいと考えております。今後ともより一層、地元地域の皆様のお役に立てる金融機関として努力していく所存ですので、よろしくお願いたします。

「協賛」
 さわやか信用金庫コンサルティングセンター
 株式会社さわやかリサーチ



〈地域の新たな取り組みの事例紹介〉

大田区発

中小製造業のためのデジタル受発注マッチングの仕組み

「プラットフォームの活用して、説明会を区内企業向けに開催しました！」

中小製造業のためのデジタル受発注マッチングの仕組みについて

大田区(区長・松原忠義氏)、公益財団法人大田区産業振興協会(理事長・川野正博氏)、I-O-T-A合同会社(本社・東京大田区、代表社員・國廣愛彦氏)、株式会社テクノア(本社・岐阜県岐阜市、代表取締役・山崎耕治氏)は、4者の連携により、中小企業の事業規模拡大、大手からの発注の拡大、将来的な海外展開の基盤づくり、体制構築の強化を推進していきます。そして、大手企業や研究開発機関等の発注者と中小製造業を繋ぐデジタル受発注の仕

組みを構築します。仕組み構築を目指す背景としては、国内最大の産業集積地である大田区では事業規模が縮小していることがあり、また世界を取り巻く環境は不確実性が高まっており、このような状況においては、ますますデジタル化を進めて、環境変化に備えておく必要があります。こうした背景を踏まえ、大田区では全国の自治体の中でいち早く、デジタル化の必要性を認識して、2016年からプロジェクトをスタートしました。大田区は元来、国内屈指の金属加工分野の中小企業の集積地であり、高い技術力を有する複数の町工場が連携して製造を行う「仲間

まわし」という仕組みがあり、大手企業等からの短納期・難加工な試作開発関連製品の製造を担ってきました。プロジェクトを進める中で、株式会社フルハートジャパン様及び株式会社エース様等の協力のもと様々な実証実験を実施しました。その結果、「仲間まわし」のデジタル化は不可欠であり、中小企業同士のネットワークのデジタル化を今後、発展させていく必要があるという結論に達しました。

本仕組みでは、これまで大田区中小製造業が培ってきた技術力を活かして、図面から部品を製造する単加工の領域から、より付加価値の高い、最終製品やモジュールの研究・開発領域をターゲットにすると共に、デジタルツールの効果的な活用を通じて、中小製造業同士の連携の強化及びワンストップ型ものづくりの実現が可能となります。また、人手不足等の理由で営業活動が十分に行えていない中小企業に対し、新規顧客獲得のための機会を提供します。

このデジタル受発注の仕組みを活用して全国の中小企業が有機的につながり、日本の製造業の高度な技術力を集結させることで、日本、そして世界中の発注者がより効率的に、試作開発段階からものづくりの相談・発注ができる環境づくりを推進していきます。

デジタルツールは、株式会社テクノアがI-O-T-A合同会社と連携して開発した「プラットフォーム」というクラウドサービスを活用します。

これにより中小製造業のデジタル化、ネットワークの強化、高付加価値案件の受注を促進すると同時に、発注者はものづくりのワンストップサービスを利用することが可能となり、製造パートナー企業の選定、図面のない試作開発段階での相談等をスピーディーに行うことができます。



▲当日は1,400名以上のお客様にご来場いただきました。



▲寄付金贈呈式の様子



▲セレモニー・テープカット

「プラットものづくり」は、4者の連携により、大手企業や研究開発機関等の発注者と中小製造業を繋ぐデジタル受発注の仕組みを構築しています。



連携企業のご紹介

大田区は人口約74万人で、面積は23区で一番大きく、羽田空港を有する臨海部、工業地、商業地、住宅地などさまざまな顔を持つ地域です。中でも最大の特徴は、4000を超える製造事業所があり、高度な加工基盤技術を持つ中小製造業が集積する国内有数の「ものづくりのまち」です。

大田区の役割としましては、プロジェクト全体の管理、事務局運営、予算獲得、産業のまちネットワーク(全国20都市)をはじめとする他地域自治体・支援機関との広域連携促進、関係省庁との連携促進となっております。

本事業では、デジタル受発注の仕組みを大田区中小企業のみならず、国内各地の中小企業の集積地・企業を繋ぎ、さらなる受注案件や顧客を拡大することと、今後整備が進むデジタル田園都市等の中小企業のデジタル化促進及び稼ぐ力の強化に貢献します。

大田区



大田区産業振興協会は、区内中小企業の振興と中小企業勤労者福祉の向上から地域社会の健全な発展に寄与することを目的に、1995年に設立された大田区の外郭団体です。協会では、区内外より年間約1000件のものづくりの相談を受け、対応ができる区内企業を紹介する「受・発注あっせん相談サービス」を実施しています。

協会の役割としましては、大田区と連携した事務局運営、区内中小企業のデジタル化促進、区内企業の連携促進、大手企業へのプロモーション、グループ代表として従来からの受発注サービスのうちデジタルプラットフォームに最適な案件を斡旋することです。

今回、新たに構築されるデジタルによる受発注の仕組みとこれまでの受・発注あっせんサービスを高次元に融合させ、さらなる受発注サービスの拡大を、また本サービスの知見等をデジタル受発注の仕組みに活かすことで、より充実した内容にすることを目指します。

公益財団法人 大田区産業振興協会



テクノアは、これまでも生産管理システム「TECHS(テックス)シリーズ」をはじめとした中小製造業向けの多くのITツールの開発・提供を行ってきました。同社の役割としては、本システム(プラットフォーム)の開発及び全国の製造業および関連事業者の連携を促進することです。「プラットものづくり」は、ものづくりの相談をしたい依頼者ともものづくりの依頼を受けたい製造業をつなぎ共に挑戦・成長していくサービスです。

今回、中小製造業による共同事業体である「I-OTA」との連携により、日本全国の製造業が直面している本質的な課題を解決できるITソリューションパートナーとなることを目指しています。

株式会社テクノア

セミナーの概要

- 日時** 2022年9月20日 17:00~18:30
- 会場** 羽田イノベーションシティ HANEDA×PiO 交流空間 「PiO PARK(ピオパーク)」
- 対象** 大田区内外のビジネスパーソン



説明会プログラム

- 17:00 開会挨拶**
大田区産業経済部 産業経済部長 山田 良司氏
- 17:05 基調講演**
「日本の製造業における現状と大田区製造業への期待」
デジタル庁統括官 国民向けサービスグループ長 村上 敬亮氏
- 17:25 講演**
「大田区発!中小製造業のためのデジタル受発注マッチングの仕組みについて」
大田区産業経済部 産業調整担当課長 荒井 大悟氏
- 17:35 講演**
「デジタルツール『プラットものづくり』で「グループ代表」機能を担うI-OTAの活動紹介」
I-OTA合同会社 代表社員 國廣 愛彦氏
- 17:55 デジタルツールの説明**
デジタルツール『プラットものづくり』の機能説明
株式会社テクノア プラットフォーム事業部 課長 佐々木 静氏



相談者と製造業をつなげるデジタルツール

「プラットものづくり」説明会

I-OTAコメント

説明会ではまず第一弾として「プラットものづくり」の画面イメージやコンセプトのお披露目ことができました。オンラインやオフライン共に参加して頂いた方々ありがとうございました。相談したい方は図面なしでも気軽にものづくりが相談でき、依頼を受けたい方は仲間やグループを作って参加できます。

このツールを双方が活用することで共に挑戦や成長をして豊かな未来につながることをゴールだと感じました。



▲ 説明会にて講演中の國廣氏



I-OTA運営企業
(順不動 敬称略)



プラスチック加工
堤工業株式会社



株式会社キョウエイ



株式会社 フルハートジャパン



株式会社エース



大型部品加工MC・横中ぐり盤・フライス盤
機械装置の組立・修理 出張作業

有限会社 関鉄工所



安久工機
YASUHISA KOKI
BIO MECHANICS



栄商金属 株式会社

I-OTA仲間企業
(順不動 敬称略)

- 株式会社東新製作所 株式会社武甲製作所 辻村経営コンサルティング
株式会社マテリアル 株式会社渡辺精機 Ekuipp株式会社 株式会社金森製作所
株式会社松浦製作所 株式会社辰美製作所 北栄電気株式会社
有限会社神代工業 ヴァーデン販売株式会社 株式会社泰信製作所
株式会社芝橋 株式会社上田製作所 有限会社今岡モールディング
株式会社東邦精機製作所 大森精密工業株式会社
ムソー工業株式会社 株式会社平川製作所 有限会社三和製罐
有限会社尾熊シャリング 大田ゲートウェイ株式会社
有限会社東蒲機器製作所 有限会社大野精機



I-OTA合同会社

I-OTAは「技術・連携・ものづくりで世界のイノベーションを支え、豊かな未来を創る」を経営理念とし、「世界のイノベーターと共に歩む」をビジョンに活動を進めています。世界のどこかで新しいことにチャレンジしようとしている人々をものづくりで支援し続けることが使命です。

I-OTAの役割としては、これまでの実証実験等で蓄積したデジタルノウハウを活用したデジタルツールの開発をサポート、グループ代表としての発注者との案件とりまとめ、ビジネス関連業務(発注者との秘密保持契約、案件提案窓口機能、納品等)を担います。

I-OTAが実現したい形は『プロジェクト型仲間まわし』です。それはお客様の幅広い課題を解決するため、加工業だけでなく、営業、製品企画、設計等と多様な業種が集まり、迅速に案件に対応する態勢を整え納品を進める姿です。提案型ソリューション提供を行うコンソーシアム(共同事業体)構築を目指しています。

I-OTA 事業理念

大田区企業を、世界最大の開発企業体へ。
I-OTAは大田区企業の力をフルに活かし、お客様の課題を解決する共同事業体。
多岐にわたる開発を経験した大田区企業がI-OTAに参加し、お客様のビジネスを的確に推進します。

I-OTA とは

私たちの社名I-OTAには、思いが込められています。
Information and Communication Technology 「ICTを活用して」
Interactive 「インタラクティブに」 **Idea** 「アイデアを出して」
Innovation 「イノベーションを」 **I** 「(愛)を忘れずに」

世界有数の工場集積地である大田区は、職人の現場力によるものづくりを支えてきました。これまで属人的に組み上げられてきた現場力を、ICTを活用して分析可能なデータとして収集。大田区ひいては日本の財産として活用し、日本の開発力を向上させることを目的としています。

もうひとつは、「私」を意味する「I」。お客様には、ビジネスの向こうにある豊かな未来に向けて。I-OTA参加企業には、人間らしい豊かな働き方を。I-OTAは、ビジネスをともにすすめるお客様と参加企業それぞれの「私」を実現するために日々活動しています。I-OTAに関わる全ての人々がモノづくりというビジネスを通してより豊かな未来が訪れることを願っています。



お問い合わせ窓口

大田区
産業経済部 産業振興課 産業調整担当 TEL03-6424-8655

公共財団法人 大田区産業振興協会
経営支援セクション取引拡大チーム(工業運輸等) TEL03-3733-6126

I-OTA合同会社
メールアドレス info@i-ota.jp

株式会社テクノア (プラッとのづくり担当)
URL https://offers.techs-s.com/platto_fa

I-OTA 会社概要



社名 I-OTA合同会社
所在地 〒143-0024 東京都大田区中央3-20-8
設立 2018年6月15日
代表社員 國廣 愛彦氏
業務内容 (1)ものづくりコンサルティング及び試作品、製品の企画・設計・製造
(2)製造業の生産向上に寄与するITツールの企画・設計・制作・販売及び保守

[協賛] さわやか信用金庫コンサルティングセンター、株式会社さわやかリサーチ

セミナー概要

1. 日時 (リアル開催)

2022年10月25日(火) 15:00~16:45

2. 場所

札の辻スクエア(港区立産業振興センター)11F ホール大
住所:港区芝5-36-4

3. 内容

- 15:00~15:15 【オープニング/主催者挨拶】
さわやか信用金庫 理事長 篠 啓友
港区長 武井 雅昭氏
- 15:15~16:05 【第1部/創業フォローアップセミナー】
東京都よろず支援拠点
チーフコーディネーター 金網 潤氏
コーディネーター 金子 敦彦氏
- 16:10~16:40 【第2部/先輩起業家による講演】
株式会社アーキネット 代表取締役 織山 和久氏
- 16:40~16:45 【第3部/主催機関からの紹介】
港区 産業・地域振興支援部産業振興課
経営支援係長 加川 恒介氏
さわやか信用金庫コンサルティングセンター
センター長 小川 誠一

4. 対象

港区区内で創業後5年以内の事業者様



住所:港区芝5-36-4

創業から経営を軌道に乗せるための苦労話やアドバイスをしていたいただきました。実際会社を安定させるために5年程かかり、簡単にはうまくいかなかった経験から、創業の心得を3つお話ししていただきました。

「先輩起業家による講演」では当金庫総代で恵比寿駅前支店のお取引先様でいらっしゃる株式会社アーキネット代表取締役の織山和久氏による講演が行われました。

第2部

また金網氏、金子氏からは事例を交えて分かり易く、創業の大事なポイントについてセミナーを行っていただきました。

「先輩企業家による講演」では当金庫総代で恵比寿駅前支店のお取引先様でいらっしゃる株式会社アーキネット代表取締役の織山和久氏による講演が行われました。

②ターゲット設定を行う際に、ターゲットモデルを実在人物のネスモデルキャンバスを作りA4サイズ1枚で価値の提供や顧客との関係、活動・製造・販売、収益、コストなどを表し、全体像を可視化することで理解が深まります。

③開業後は資金繰り表の作成と業務管理を行います。予算設定↓営業↓予実管理↓改善というようにPDCAサイクルをま

わすことが大事です。たとえば損益はプラスで営業は好調でもお金足りなくなり倒産する可能性もあり、月次収支と資金繰り表で管理していく必要があります。

また、東京都よろず支援拠点は国の事業で何度でも相談無

2022年10月にさわやか信用金庫誕生20周年を迎え、「課題解決型営業地域No.1」に向けたコンサルティングを更に強化するため、創業支援のセミナーを開催いたしました。

創業支援策として、さわやか信用金庫が主催し、「中小企業の支援に関する連携協定」を締結する港区共催の下、事業者向けセミナーがコロナ感染対策に十分配慮しながらリアル形式で行われました。

「創業フォローアップセミナー」では「安定した経営基盤を構築するために必要な創業のポイント」として中小企業庁東京都よろず支援拠点チーフコーディネーターの金網氏とコーディネーターの金子氏にご講演いただきました。

第1部



「創業フォローアップセミナー」では「安定した経営基盤を構築するために必要な創業のポイント」として中小企業庁東京都よろず支援拠点チーフコーディネーターの金網氏とコーディネーターの金子氏にご講演いただきました。

金網氏からは創業3つの勘所について、これまで相談のあった方々の事例をご説明していただきました。創業3つの勘所とは①お客様を誰にするか(ターゲット層)②貢献価値を創る・磨く(どうやって役に立つか)③営業PR(どうやって世に広めるか)のことです。また、安定した経営基盤の構築には経営者の視点で、①儲ける力(売上・利益)②上手にお金を作り使う力(キャッシュフロー)③事業を継続させる力が重要であるということでした。





▲ 港区 産業・地域振興支援部 加川係長様 ▲ 東京都よろず支援拠点 チーフコーディネーター 金綱様 ▲ 港区長 武井様(左)と篠理事長



▲ セミナーの様子 ▲ 東京都よろず支援拠点 コーディネーター 金子様 ▲ 株式会社アーキネット 代表取締役 織山様



さわやか信用金庫 港区8店舗

本店営業部	〒108-0073	港区三田5-21-5	TEL03(3444)1112
東京港支店	〒105-0014	港区芝2-29-10	TEL03(3451)8251
芝浦支店	〒108-0023	港区芝浦3-6-3	TEL03(3454)5181
麻布支店	〒106-0045	港区麻布十番4-1-9	TEL03(3451)3710
日比谷支店	〒105-0003	港区西新橋2-8-6	TEL03(3437)3710
赤坂支店	〒107-0052	港区赤坂2-13-2	TEL03(3585)3710
六本木支店	〒106-0032	港区六本木7-8-8	TEL03(3403)3710
青山支店	〒107-0062	港区南青山5-11-5	TEL03(3400)3710

東京都よろず支援拠点

事前に電話予約 TEL03(6205)4728
 新橋事務所 港区新橋1-18-6 共栄火災ビル1階
 立川事務所 立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12階

港区立産業振興センター

港区芝5-36-4 札の辻スクエア 9階~11階 TEL03(6435)0601

お問い合わせ

[協賛] さわやか信用金庫コンサルティングセンター、株式会社さわやかリサーチ

「1つ目は創業時には事業を3つ用意できると安心できるということ。日銭で定額の収入がある事業や単発で収入が見込まれる事業、本来考えている事業(創業)を行っていければ、安心して創業に向けて活動できるということ。2つ目は生の情報を得るのは非常に大事なことです。2次情報は人から聞いた情報で、あまりあてになりません。自分で経験した時には失敗して、そういう中から得た自分しか分からない情報を得ることで、創業のヒントを見つけることができます。3つ目は組織をデザインするということです。ビジネスに即した組織、働きやすい人間関係の良い職場を作っていくことです。人事制度、職場風土を考慮して、自分のビジネスに合うものを追及していくことです。最後に、万が一事業がうまくいかなくても、1人で思い詰めることなく、周囲に相談できる場所、人はいり、また、事業立て直し等を目的としている様々な方策があります。そうなったときでも事業等の再生への道は残されています。」

なお話がありました。参加者様に向けて、大変リアリティのある有益なアドバイスになりました。

第3部

主催機関からの紹介として、港区産業・地域振興支援部産業振興課の加川係長様より、港区立産業振興センターの施設のご案内がありました。

「札の辻スクエアの8階が産業振興課、9階~11階が産業振興センターとなっています。産業振興センターは今年4月にオープンしました。「企業・人・地域の力」を1つに結び付け、最新の情報や技術を提供する「未来発展型の産業振興拠点」となる施設です。施設内にはワークスペースやフルカラープリンター・VR機器等の試作ツールを設備し、ビジネスに役立つ書籍類を備え、登記も可能にしました。また、ホール・研修室・会議室の貸し出しも行っていますので、是非ご利用・ご活用して下さい。」

また、当金庫コンサルティング



センターの小川センター長からは、お客様支援の取り組みの説明がありました。

「1つはさわやか創業フォローアップスキーム「順風満帆」についてです。当金庫と日本政策金融公庫が協調して行うもので、昨年度は135件、約40億の融資実行をしています。当金庫は本業支援に軸足を置いて活動しており、ご融資のご相談にあたって、東京都よろず支援拠点様とも協調し、事業計画書、資金繰りの支援等も行っています。もう1つは東京都の制度として、女性・若者・シニアのための創業サポート事業を行っています。信用金庫・地域創業アドバイザーが東京都と連携して、低利融資・事業計画アドバイス・創業後の経営サポートをパッケージ化して提供し、地域に根ざした創業を幅広く支援しています。お客様と金融機関と専門のアドバイザーが融資計画にあたって連携して、その後のフォローアップ体制もとられています。お困りごと、ご相談ごとがあれば是非ご連絡してください。」

以上創業をサポートする商品と制度のご案内をし「港区共催創業フォローアップセミナー」を終了いたしました。

港区共催 創業フォローアップセミナーアンケートのご協力について

最後にご参加された事業者様にアンケートを実施しました。当日の来場者様は35名様でそのうち、29名様からアンケートのご回答をいただきました。

1. 経営支援(売上拡大、補助金支援、計画策定、資金繰り管理等)の希望相談について
 興味がある……: 17名
 個別相談希望……: 4名

2. 今後の資金調達について
 今後資金調達を検討している……: 12名
 早々に融資相談を希望……: 4名

以上のようにご参加された事業者様の半数以上が経営支援や制度融資に対するご関心や将来の資金需要をお持ちであることがわかりました。今回のアンケート結果も踏まえて、今後もお客様の本業支援に繋げていきたいと考えています。



株式会社東亜製作所の特殊技術について

【特殊モーター・高速モーター設計開発】



今回発刊の「a i i e」18号より、お持ちである特殊技術を活かし特殊な製品を製造されているさわか信用金庫のお取引先様の特集記事の掲載をさせて頂きます。今回は戸越銀座支店のお取引先様でおられる「株式会社東亜製作所様」を取材させて頂きました。

特殊技術について

特殊モーターの一例では、フレキシブルモーターがあります。遠心分離機のような縦置き型高速モーターでは、片軸受けアンバランス状態での運転になる為、振動を吸収する機構が複雑になる傾向があります。

フレキシブルモーターは、振動をシャフトがたわみながら吸収するため、安定した回転ができる構造になります。（曲芸のコマ回しに似た回転）

ただ、量産の難しさがありませんが、お客様と共同で試作の、振動試験や耐久試験を繰り返し、お客様満足度が高いモーターを作っていきます。

また、ベアリング（※1）を追

加工する事により、確実に他社との差を明確にし、高速回転時に発生するクリアー振動・主軸の振れ・騒音を当社基準以内に安定的に抑える事ができます。（※1）ベアリングとはモノの回転を助ける部品であり軸受と呼ばれていて、回転する軸を支え、より滑らかに回転することを助けています。



▶フレキシブルモーター

独自技術について

ベアリングを受けるボアの管理をμmで管理する技術

高速モーターでは予圧管理が重要になる為、工作機械だけでは±5μmの管理が限界です。また切削は、表面の粗さにμmの山と谷が発生する為、高速モーター使用する時はボア部の山がベアリングとの接触で擦れて山がつぶれ+5μm大きくなりベアリングが安定しません。

そのため弊社では、バニシングツールという表面仕上げツールを使用し、加工面の山と谷の差が極力小さくなるように鏡面加工を施しています。

また、状態を確認するのにエアーマイクロを使い高圧エアが隙間を流れる量で表面の粗さと真円度と径をμm単位での管理が実現します。



▶ベアリングを受ける部分（ボア）の加工後の状態（鏡面状態）



▶バニシングツール



▶エアーマイクロ



▶チャメライクにミル治具

独自加工技術により仕様に満足いくベアリングの開発
（ベアリングメーカーが対応していないクリアー防止ベアリングを製作）



▶ベアリング

～製品紹介～



鉄塔用ウィンチ 防水型2速式制御一体型モーター

お客様の要望で、安全に荷上げ荷下ろしが出来る様に高速と低速が切替られる様にしたセットモーターです。



小型高速冷却遠心機 M201-IVD

遠心分離機用高速回転モーター

遠心分離機に使われる高速回転モーターを生産しています。近年では新型コロナウイルスのPCR検査に使用され、需要が高まっています。



旋回用モーター

強い波しぶきがかかる船舶や、雪国で使用される除雪車、鉄道車両などで使用される旋回窓用モーターを生産しています。


当社の強み

- ・遠心分離機分野での高速モーターの実績がある
- ・船舶用モーターの信頼と実績
- ・高速ベアリングを使用した軸受け技術の実績
- ・モーター設計はもちろん周辺装置の設計
- ・案件に合わせた設計により信頼と満足度の高いモーター
- ・設計から部品製作まで短期的な対応ができる
- ・大学などの研究機関からの試作モーターと実験装置の設計

ご紹介の通り、長年に渡り蓄積して来た経験を基に特殊モーターの開発を得意としています。開発設計はお客様と共同で試作品をつくりながら、ニーズに沿った製品製作を心掛けています。今後も「お客様に信頼され、協力会社と安心を与え共に成長していく会社でありたい」との経営理念の下、社員一同皆様と共に歩んで参る所存です。

開発案件等があればホームページにてご連絡いただければ対応いたしますのでよろしくお願いいたします。（現状を鑑みて打ち合わせはWEB会議でも対応いたします）

ご質問・お問い合わせ等は「お問い合わせ」フォームより、お送り下さい。



経済については、
足元をこう見て、
先行きを
こう読み込め

今年の経済は、想定外が続き、予想外に停滞の方向

昨年の今ごろ、市場には今年中に新型コロナウイルス感染も何らかの形で収束に向かい、つれて「行動制約」の緩和・解除が進み、我が国を含む世界経済は回復に向かうと見る向きが大勢でした。

事実、我が国でも新型コロナウイルスはデルタ株からオミクロン株への置き換わりが進み、爆発的な感染者の増加に見舞われましたが、主要国では感染も落ち着き、予想通りに「行動制約」の緩和・解除が急速に進み、つれてそれまで抑えられていた需要が急速に増加に転じたのです。ただこの一方で、新型コロナウイルス感染の収束状況には国によってかなり差があったこともあり、需要と供給のバランスが崩れ、この結果物価上昇が急速に目立つ格好になったわけです。

会社概要

(敬称略)

【会社概要】

社名：株式会社東亜製作所
所在地：〒142-0043 東京都品川区二葉4-26-9
ホームページ：https://www.toa-ss.com/ または「東亜製作所品川」
電話：03 (6426) 2950
設立：昭和29年
代表者：代表取締役 畑木 吉正
業務内容：1. 高速モーター、特殊モーターの開発、関連システムの企画開発
2. モーター応用技術コンサルティング、アクチュエータ応用制御技術サポート、信頼性実験評価に伴う機器開発。
従業員数：営業及び技術顧問含めて10名（この人数で開発設計から製品製作までを実行、簡単な機械加工、試験も行う。）
その他：当社での対応不可の製品は同業企業と協力し、お客様の案件に対応しております。



代表取締役 畑木 吉正

【沿革】

明治44年 個人経営佐々木製作所を創設主とする。
大正10年 農商務省（現農林水産省）と経済産業省より研究助成金を交付され、農業用発電機及び自動車用発電機を製造。
昭和29年 小林伝治郎より、株式会社東亜製作所を設立。小型交流直流発電機と船舶用通信機用ローターコンバータを製造
昭和45年 小林暢弘に引き継ぎ、半導体の発達により発電機が姿を消す中、特殊モーターの開発に移行。工作機械用の給油装置モーター、船舶のワイパーモーター、遠心分離機モーター、ブラシを必要としないインバータによる高周波モーターを次々と開発。
平成27年 畑木吉正が引き継ぎ、代表取締役に就任。現在に至る。

【代表取締役 経歴】

昭和40年10月7日生まれ 茨城県出身
昭和59年3月 茨城県立玉造工業高等学校電気科卒業
昭和59年4月 株式会社佐久間製作所入社
製造部サービス課として全国を回る
平成 4年4月 工場長代理就任
フロン規制による代替フロン製品化を進める
平成 8年2月 畑木製作所設立、自社製品開発をしながら株式会社東亜製作所の技術サポートとしてミネベア大森工場出向
平成15年4月 株式会社東亜製作所入社
特機部門を開拓。ステッピングモーターを使用した数値制御のメカ部及び制御関係を担当
株式会社東亜製作所 専務取締役就任
株式会社東亜製作所 代表取締役に就任



金融塾

さわやかリサーチ 特別参与
鈴木茂の



第十六回・経済については、足元をこう見て、先行きをこう読み込め

ただ市場としては、これも時間がたてば自ずと解決する問題としてとらえ、この時点までは経済は先行きも着実に回復に向かうと予想していたのです。

そこにまさかと思われる「ロシアのウクライナへの侵攻」が現実化したのです。しかも予想外に長期化の様相を呈し始め、まずはエネルギー関連資源が急騰し始めました。またロシアとウクライナは、世界の中でも特筆される穀物輸出国であったわけですが、これが阻害されるところとなりました。更には、これもある程度は予期していたことではありましたが、異常気象が世界中で猛威を振るったことが追い打ちをかけた形で食料品価格が高騰

し、最終的にはあらゆる品目が世界中で未曾有の上昇を見ることになったのです。

そして、これを眺めた米国をはじめとする主要国では、経済成長率よりも当面のインフレ抑制のほうが大事とばかりに、一斉にそれまでのゼロ金利政策から「金融引き締め政策」に急遽切り替えたのです。ただ金融引き締め政策は、主に「需要を抑える」としてインフレ抑制を図るものであり、今回のインフレのように「供給要因」を主とするものには直接には作用するものではないのです。しかも、需要を必要以上に長期間にわたって減退させる可能性があるので、そして、ここに新興・途上国でも主に米国の利

世界経済見通し(WEO)による最新の成長率予測
実質GDP、年間の増減率

	2021					2022 予測										2023 予測				
	1月時点	4月時点	7月時点	10月時点	修正	2022					2023									
						1月時点	4月時点	7月時点	今回	修正	1月時点	4月時点	7月時点	今回	修正					
世界GDP	5.9	6.1	6.1	6.0	-0.1	4.4	3.6	3.2	3.2	0.0	3.8	3.6	2.9	2.7	-0.2					
米国	5.6	5.7	5.7	5.7	0.0	4.0	3.7	2.3	1.6	-0.7	2.6	2.3	1.0	1.0	0.0					
ユーロ圏	5.2	5.3	5.4	5.2	-0.2	3.9	2.8	2.6	3.1	0.5	2.5	2.3	1.2	0.5	-0.7					
日本	1.6	1.6	1.7	1.7	0.0	3.3	2.4	1.7	1.7	0.0	1.8	2.3	1.7	1.6	-0.1					
中国	8.1	8.1	8.1	8.1	0.0	4.8	4.4	3.3	3.2	-0.1	5.2	5.1	4.6	4.4	-0.2					

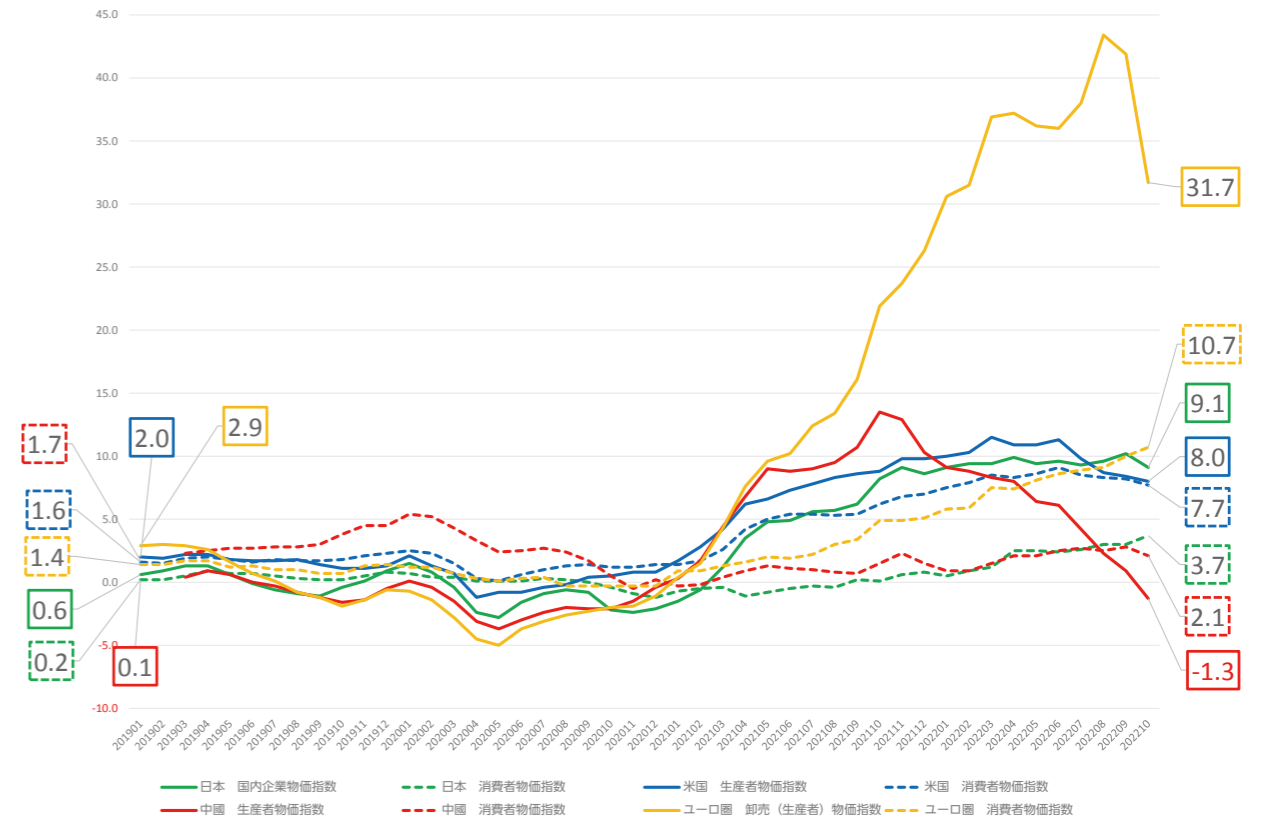
出典：IMF：国際通貨基金2022年10月「世界経済見通し」より

OECD Economic Outlook Projections
世界及び主要国・地域の経済成長率

	2021						2022 予測										2023		2024
	1月時点	5月時点	9月時点	12月時点	6月時点	修正	2022					2023					今回		
							1月時点	5月時点	9月時点	12月時点	6月時点	9月時点	今回	修正	6月時点	9月時点	今回	修正	今回
世界	5.6	5.8	5.7	5.6	5.8	0.2	4.0	4.4	4.5	4.5	3.0	3.0	3.1	0.1	2.8	2.2	2.2	0.0	2.7
米国	6.5	6.9	6.0	5.6	5.7	0.1	4.0	3.6	3.9	3.7	2.5	1.5	1.8	0.3	1.2	0.5	0.5	0.0	1
ユーロ圏	3.9	4.3	5.3	5.2	5.3	0.1	3.8	4.4	4.6	4.3	2.6	3.1	3.3	0.2	1.6	0.3	0.5	0.2	1.4
日本	2.7	2.6	2.5	1.8	1.7	-0.1	1.8	2.0	2.1	3.4	1.7	1.6	1.6	0.0	1.8	1.4	1.8	0.4	0.9
中国	7.8	8.5	8.5	8.1	8.1	0.0	4.9	5.8	5.8	5.1	4.4	3.2	3.3	0.1	4.9	4.7	4.6	-0.1	4.1

出典：OECD「Economic Outlook」より

卸売(企業・生産者)・消費者物価指数:前年同月比:単位%



出所：Yahoo!ファイナンスデータより、(株)さわやかリサーチ作成



急騰したこともあってインフレの進行自体は減速するでしょうが、物価水準としては極めて高い状況が続くのは明らかと見るのが妥当のようです。従って、引き続き景気下振れ要因として見る方が賢明とも思われるのです。

②主要国中央銀行の利上げ姿勢：市場の中には、米国がこれまでの大規模な利上げ姿勢(5%を超えるとの見方も)を後退させると見る向きがあるのも事実です。ただ仮にそうだとした場合、ある程度は更に利上げを進めることは確実のようであり、欧州

上げに対抗すべく経済復興を果たす前に追随利上げを実行する動きが増えたことも加わり、その結果、世界経済は急速に停滞方向に向かい始めたわけですが、しかし、こうした中で異彩を放ったのが我が国です。即ち黒田日銀総裁は、物価上昇の目標としていた2%を超える事態になったにもかかわらず、世界主要国(10%を超える先まで出現)に比べれば尚低いとして、「大規模金融緩和政策」をあくまで継続する姿勢を示し続けたのです。その結果、これが急速な円安を呼び寄せるところとなり、国内物価を更に押し上げる事態にもなつたのです。

もつとも足元は、米国の物価が高水準ながらも上昇テンポをやや鈍らせ始めているようにも見えることから、景気の先行きを楽観視する向きもないわけではないのですが、この一方で、欧州中心に厳しい状況が続いていることも確かで、中には我が国をはじめ世界経済は、このままでは下手をすると「スタグフレーション」(インフレ下の経済不況)に陥りかねないという向きもあり、先行きの経済の行方の判断は二段

と難しい状況になってきているのです。

先行き経済も、下振れリスクが高い

そこで、先行きの経済状況を考察してみますと、当然足元の経済の延長線上にあるわけですが、かつ相互に関係する構図にあるのですが、考慮すべきポイントをあえて区分すれば、以下の4点に集約されそうです。

①インフレの行方：インフレの行方については、後述の「ロシアのウクライナへの侵攻」がどう収束するかにも大きく関係することですが、市場の中には米国ではインフレが鈍化し始めていることから、ピークは過ぎ去つたと楽観視する動きがあることも事実です。ただ米国にしても、物価上昇率は極めて高い水準(10月の消費者物価指数は+7.7%)にあるわけで、欧州主要国に至っては、未だに10%を超えるインフレに直面している国も少なくないのです。従って、これでインフレが収まりつつあるとは、とても言えない情勢なのです。

そして来年にしても、今年が

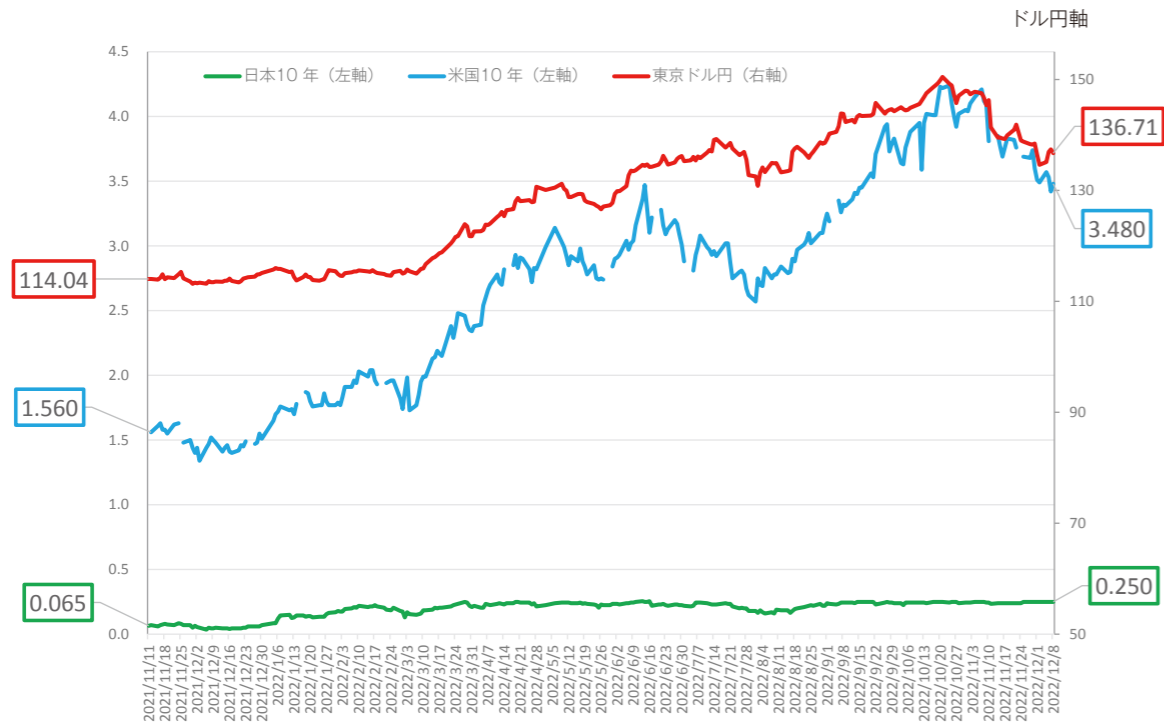
各国も同様です。とすれば、例えば我が国との「内外金利差」は更に拡大するでしょうから、当然為替は我が国政府・日銀の「為替介入」で二時的に円高に振れることがあつても、基調的には円安が更に進むと見るのが妥当です。

この場合我が国には、依然として円安メリットを主張する向きがあるわけですが、最近の調査では輸出依存度の違いにより、より大きく格差が生じている模様で、特に家計にとつてはデメリットが大きく、結果的に消費減退の原因になり、景気を下押し可能性の方が高いようです。

従って、ここは賃金をいかに引き上げられるか、インバウンド効果をいかに拡大しようかがより重要な課題になってくるということです。それにしても、足元海外からの就業者が減少する一方で、高賃金を求めて海外及び外資系企業への就職を目指す日本人が増えているようでは、ここは気がかりです。

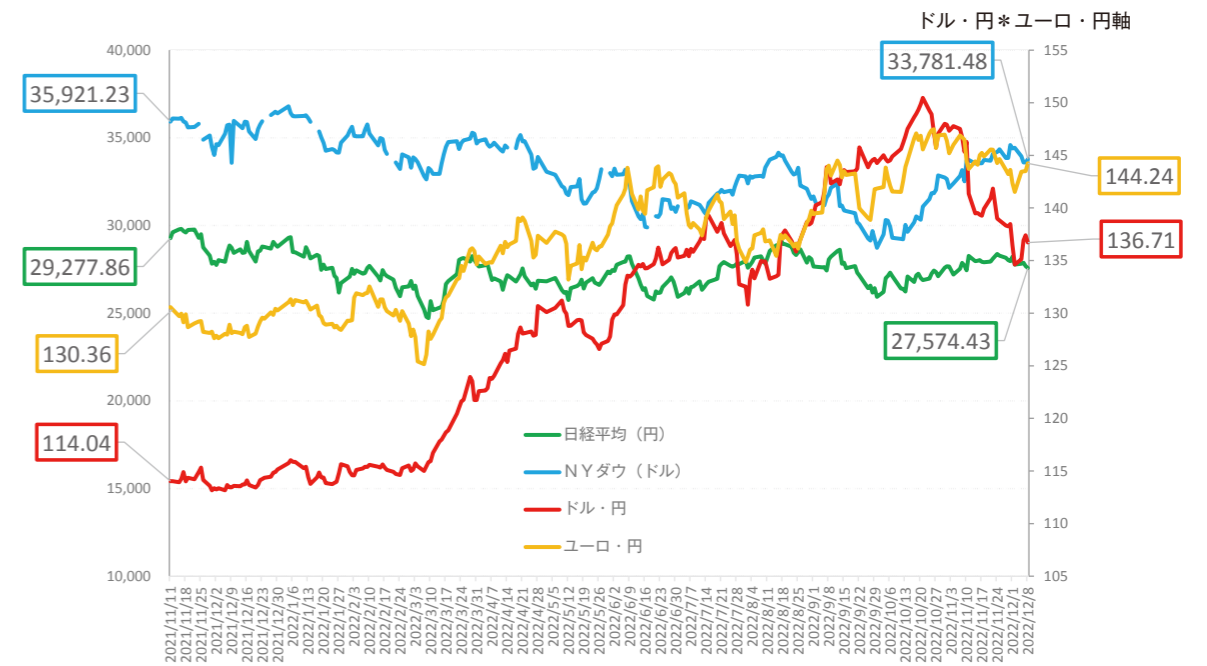
③「地政学リスク」の行方：まず問題になるのは、「ロシアのウクライナへの侵攻」の行方です。足元はウクライナ優勢との見方があるのですが、さりとて現状では収

日米10年債利回り(単位:%)とドル円推移(単位:円)



出所：株式会社クイック データより、(株)さわやかリサーチ作成

日経平均株価(円)NYダウ(ドル)・東京ドル円(円)・東京ユーロ円(円)推移



出所：株式会社クイック データより、(株)さわやかリサーチ作成

下振れリスクに達するわけで、
 ここも結局は一段の注視が求められる
 ようです。
 ④異常気象の行方：異常気象の
 拡大・激化については、国連中心
 に関心を高めており、各種方策
 を講じつつあることも確かです。
 ただ短期的予測は不可能で、中
 長期的にも各国の利害等が衝突
 しやすい分野とも言えるところ
 です。
 いずれにせよ、即効性のある解
 決方法があるわけでもなく、従っ
 てここも、当面は経済下押し要
 因と考えるのが懸命のようです。

結びにかえて

要するに、経済には予測でき
 ない短期的変動に左右されかね
 ない面が多いことは確かです。
 従って、常に不測の事態にどう対
 応するかを勘案した経営が求め
 られているとも言えるのです。た
 だこの一方で、中長期的には明ら
 かにある程度の明確な基調・方
 向性があることも確かですので、
 要はこれをいかに素早くかつ的確
 に読み取り、経営に生かしてい
 るかが求められているのです。
 さらに言えば、いつも繰り返し

東の方向性が見えず、長期化す
 ると考えざるを得ません。只この
 ままでは、両国とも体力的限界
 に達すると考えられます。もと
 よりロシアの体力疲弊は著しく、
 更に米国にしても経済指標の動
 きは必ずしも芳しいものではな
 く、加えて今回の中間選挙の結
 果からして、これまでのような支
 援は難しくなる可能性があり、
 さりとて欧州にもそれを完全に
 肩代わりする余力もないでしよ
 うから、自ずと何らかの妥協点
 を探ることになる可能性もあり
 ます。そうなれば、世界経済が緩
 やかにしても再び回復基調に戻
 ることも夢ではありません。只こ
 の場合でも、「中国の台湾進攻」
 「北朝鮮・イランの核開発」といっ
 た大きなリスクは残ります。
 また我が国では、新型コロナウイルス
 感染が再び増加し始めており、更
 に中国は、あくまでも「ゼロコロナ」
 政策継続に拘っているようです
 から、これが景気下押し要因にな
 り、気がなるところです。
 いずれにせよこうしたことか
 ら、世界経済を牽引している米
 国・中国とも不安定な動きが続
 いていることも事実であり、この
 動向如何では、当然世界経済は

ていることですが、良い経営者に
 求められるのは景気に左右され
 ない経営基盤をいかに確立してい
 くかということになるのです。
 これも「言うは易く、行うは難
 し」ということなのでしょう。



鈴木 茂
 Suzuki Shigeru

山形県出身。株さわやかリサーチ 特別参与。
 昭和49年日本銀行入行。主に調査畑を歩み、
 特に金融バブル発生、崩壊時には一貫して最
 前線で処理対応に活躍。その後北九州、金沢、
 福岡各支店長を歴任。北九州市助役、メリル
 リンチ上席顧問を経て、現在コンサルタント
 会社を経営。民事調停委員を兼任。この間、各
 種政府委員としても活躍。



無料
公開中

鈴木茂の

経済学入門

ビジネスに効く最新コンテンツ



UserVoice
そういうことか!

旬のネタが手に入る
隙間時間にちょうどいい



動画版

経済を正しく掴んで、未来を読み解くヒントに

本誌ではお伝えしきれない
旬なトピックスをわかり易く図やイラストを交えながら解説
経済の「現在」をあなたに届ける

-Back Number-

(2022年5月～2022年10月)

- 第45回(10月)「22年9月 日銀短観はこう見て、こう読み込め」
- 第44回(9月)「円安の動きについてはこう見て、こう読み込め」
- 第43回(8月)「物価上昇と金融政策の先行きは、こう見て、こう読み込め」
- 第42回(7月)「22年6月 日銀短観はこう見て、こう読み込め」
- 第41回(5月)「我が国のインフレ動向と日銀の政策対応はこう見て、こう読み込め」

無料

経済動向レポート

毎週更新のPDF版のレポートも掲載!

「先週および今週の我が国主要経済指標から」

株式会社さわやかリサーチ特別参与「鈴木茂」による経済動向レポート「先週および今週の我が国主要経済指標から」を毎週掲載しています。

<https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/research/>

スマートフォン・タブレットからは右記のQRコード、パソコンからは「さわやかリサーチ」のホームページより視聴・閲覧できます。

こちらから動画・レポートがご覧いただけます。



株式会社 さわやかリサーチ
TEL.03-3660-5971 FAX.03-3660-5973
✉ research@sawayaka-shinkin.co.jp
🌐 <https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/research/>

「aile (エール) フランス語で『翼』、
「yell (エール) 英語で『応援』という意味